3月 えんだより

2024年３月１日発行

５年間ありがとうございました。

まだまだ朝晩は冷えますが、日中は暖かい日も増え、春の足音がすぐそこまで近づいてきているような気がします。早いもので2023年度も最後の月となりました。この一年間で子どもたちは心身ともに大きく成長しました。今はそれぞれ新しいクラスでの生活に期待と不安を抱いている時期なのではないかと思います。私たちは子どもたちのそういった気持ちに寄り添い、新しいクラスに少しでも早く慣れることができるよう、一人一人を支えていきたいと思います。

◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇

卒園、転園される皆様、これまでともしび保育園をご利用いただき誠にありがとうございました。私たちは神様から頂いた命を、自分、他者の区別なく大切にしてほしい、そしてあなたも周りから愛されている、というメッセージを保育の中に込めてまいりました。その想いがお子さんに届き、生きる力の土台になってくれていれば嬉しいです。これからもずっと、ともしび保育園は皆さんのそばにいます。

◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇

さて、別途お手紙を配付させていただいておりますが、園長であります私、山田英は、法人内の人事により、今年度を持ちましてともしび保育園の園長職を退き、４月より大田区の上池台児童館館長に就任することとなりました。

2019年の４月に着任以来、今思えばあっという間の５年間でした。初めての保育園での勤務で１年目は早く慣れようと無我夢中でした。２年目、さぁこれからという時に新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が日本にも押し寄せ、保育園の運営もそれに合わせて変わらざるを得ませんでした。感染拡大予防のため、それまで当たり前のように実施してきた行事が中止や内容の大幅な変更を余儀なくされ、大切にしてきた異年齢交流もできなくなり、楽しい食事のひと時もおしゃべりのない静かな時間になりました。保護者の皆様には、その都度その都度ご説明させていただき、ご理解を得て、ご協力いただきました。おかげさまで本園でクラスターが発生することはありませんでした。心から感謝しております。

そのような年が３年続き、今年度になってようやくコロナ禍前の保育園の姿が戻ってきました。行事や保育における人的交流が復活し、賑わいが戻ってきたように感じます。さぁこれからという時に園を離れることはとても寂しいですが、私自身チャレンジの機会を頂いたと思い、新たな場所で子どもたちのために力を尽くしたいと思います。

この５年間、保護者の皆様や地域の皆様、園児たち、職員、本当にたくさんの方々に支えられ、何とか園長職を務めてまいりました。関わってくださったすべての皆様、そして見守ってくださった神様、イエス様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。新年度から現主任の渋谷順一が園長となります。引き続きともしび保育園を、どうぞよろしくお願いいたします。

園長　山田　英